

# こめつつじ



駒ヶ岳SAから田切岳

2025年

2 月号

NO 524



**善通寺山の会**  
YAMANOKAI

# こめつつじ 2月号 もくじ

				page
巻頭		春 夏 秋 冬		2
		(再掲) 春 夏 秋 冬		3
		グ ラ ビ ア		4
		《 山行・ハイク案内 》		
定例	2/23	金見山～大谷山	CL	6
	2/22~23	大山縦走	CL	7
	3/9	寒峰	CL	8
	3/16	瀬戸内の島 沼島	CL	9
	3/16	岩トレ 12	CL	9
	3/30	金剛山	CL	10
		山 行 一 覧 表	会報部	11
		《 山行・ハイク報告 》		
定例	12/21~22	伯耆大山	記録	12
	1/5	箸蔵街道	記録	14
	1/10~13	空木岳	記録	16
	1/19	興居島	記録	18
		《 ニュース 》		
		運営委員会ニュース		19
		山行部会ニュース		20
		県連ニュース		21
		事務局からのお知らせ		22
		編集後記・表紙のことば		23

## 備えあれば憂いなし

正月休みに日直だった先生(医師)に、「餅が喉に詰まった人が来ましたか？」と聞いてみたら、「もう4年くらいは診ていない」と。餅を食べるのをやめたのか、家族に餅を食べさせてもらえないのか、小さく切るなどして注意して食べるのか、詰まった時に対処ができ大事に至らなかったのか。そういえばテレビのニュースでも見なくなった。

昨年10月の奥穂高岳山行で、長野県警察 山岳遭難救助隊にお世話になりました。涸沢への登り途中に、雨が降り出しカッパを着て歩きました。涸沢ヒュッテまでは行列で、到着しても事前予約しているレンタルテントの受付が行列で着替えができず、山岳遭難救助隊基地前のわずかなスペースで雨をしのぎました。ストックを使って登っていたので、袖口から雨が流れ込み、カッパの下はびしょびしょ。寒いので救助隊基地内にこっそり入り込みましたが追い出され、色々あって基地内で着替えができ、低体温症にならずにすみました。着替えを終えて基地内のストーブで服を乾かしているすぐ横で、洗面器に張ったお湯で足を温めながら、ドライヤーで髪を乾かされている若い男性がいました。彼はテント内で低体温症になってしまい、救助隊が背負って基地まで運び処置されていたのです。香川県を出発前にいくつかの天気予報で雨予報は1つだけだったので、『雨は降らない』と決めつけていました。「雨が降るなんて思ってなかった」と言うので隊員の方が「想定内です」と。そして「内緒ですよ」と使い捨てカイロをくれました。



扉前のベンチや看板前の軒下で雨宿りしていました。



救助隊基地前の掲示板には

温かくして  
寝てくださいね！

### ！凍結注意！

朝晩の冷え込みが激しくなりました。特に早朝は路面が凍結したり、霜が発達したりします。計画の見直しや、慎重な行動をお願いします！

◎ご安全に◎

ちなみに、喉に詰まった餅は、鉗子(かんし：ピンセットみたいなもの)を使って取るそうですが、餅がねばねばして取りにくいので固まるのを待って取るそうです。

◎ご安全に◎

【お詫びと再掲載説明】 会報部の手違いにより、1月号「春夏秋冬」(執筆者： 氏)の後半が掲載漏れとなっておりますので、以下再掲載させていただきます。執筆者、会員の皆様にはご不快とご迷惑をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。 会報部

春夏秋冬

## 2025年に際して

安井

いよいよ2025年蛇年がスタートします。蛇年生まれの人は、悪く言えば執念深く、良く言えば粘り強く頑張り続けられると言われていています。ところで、今年は激動の年と言われていています。まずは米国でトランプ大統領が就任します。また、7月には大災害が日本を襲うという都市伝説が大きく取り上げられています。

善通寺山の会についていえば、県内の他会と同様に年々高齢化が進んできており、2017年に平均年齢56.8歳であったのが、2024年には61.8歳となり、7年間で平均年齢が5.0歳上がってしまっています。自分自身も段々と体力の衰えや物忘れ（個人装備を持っていくのを忘れる、休憩場所や宿泊場所への置忘れ）を自覚しております。そこで若い新しい会員の入会が必須となってきています。今年はホームページの更新を実施して、新しい会員の獲得に役立てたいと考えています。新しいホームページについては、概ね内容が固まってきました。もう少しすればテスト環境で皆さんに公開できるようになると思います。

個人的な目標としては、今年は、N氏に先を越された100名山の踏破を夏場に達成したいと考えています。他には海外の山にも行ってみたいのですが、安易にツアーに参加するか、独自で計画を組んで実行するか迷っています。



玉山山頂からのご来光



キナバル サヤサヤ小屋手前

ところで、新年についてですが、本来冬至点（今年は12月21日18時21分）を境に太陽の光が強くなっていくということで、冬至点にお祈りをし、その後「あけましておめでとうございます」のお祝いするのが正しいということです。古代文明には必ず冬至の光だけが差し込むような神殿が作られていたとのこと。今年はその冬至点に、大山元谷小屋から一緒に行ったメンバーと共に祈りましたので善通寺山の会にとって必ず素晴らしい一年になることと思います。



林道終点 夏の登山道入り口から見た 伊那盆地の向こうの南アルプス



ラッセルが深くなった





鎖場を下降



ローダウン  
ムンターで確保



アイゼン崩壊 応急処置



うれしい夕食

2 晩過ごした快適な池山小屋

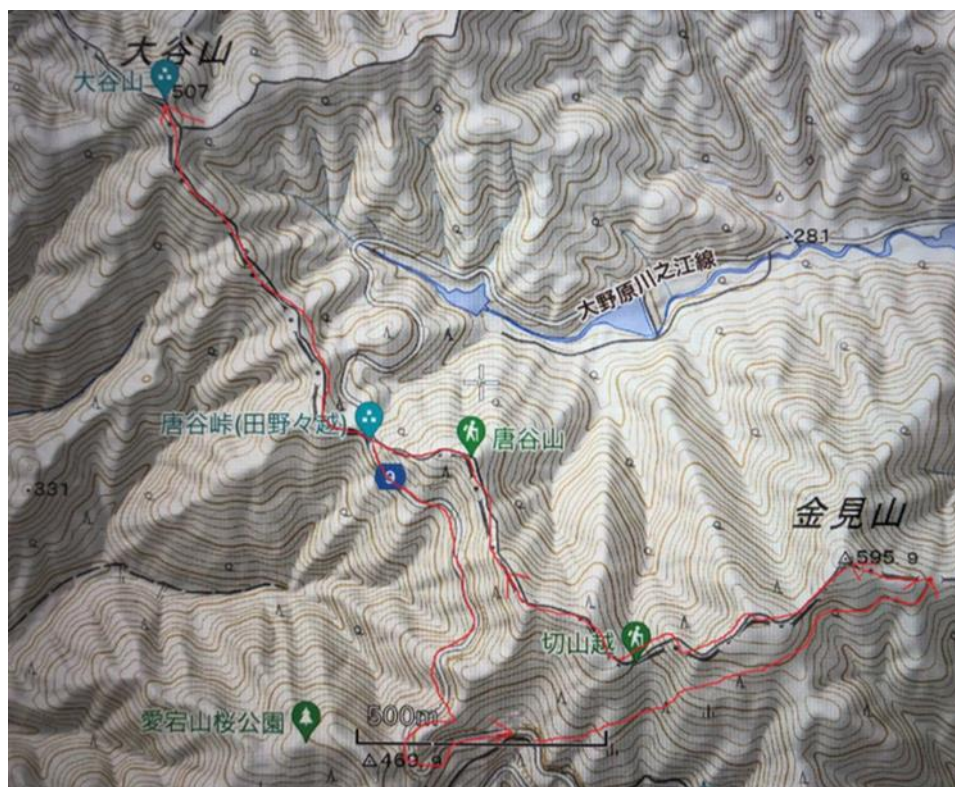


定例山行案内

## 金見山 (595m) ・ 大谷山 (507m)

- 日 程 2025年2月23 (日)
- 場 所 香川県観音寺市と愛媛県四国中央市にまたがる県境
- 目 的 冬の阿讃山脈を歩く
- C L
- 準備会 2025年2月7日 (金) 19:30～事務所にて
- 体力度 1★☆☆☆☆ (初心者)
- 難易度 A★☆☆☆☆ (初心者)

香川県と愛媛県の県境にまたがる金見山 (595m) と大谷山 (507m) は、初心者の方も経験豊富な方も楽しめる山です。瀬戸内海を望む絶景ポイントもあり、景色と自然の中でリフレッシュできるでしょう。唐谷峠からそれぞれの山を往復するのが一般的ですが、金見山は周遊できるルートを考えています。



山行案内

## 大山縦走

- 日 程 2025年2月22～23日（土～日）
- 目 的 雪山縦走
- 場 所 伯耆大山
- グレード 体力度4、技術度D
- C L
- 準備会 2/10(月)





定例山行

## 寒峰 1604.6m

- 日 程 2025年 3月 9日(日)
- 目 的 福寿草(フクジュソウ)とミツマタを見る
- 場 所 徳島県三好市
- C L
- 準備会 2月 17日(月) 19:30～、事務所にて
- 体力度 2★★☆☆☆(初心者～初級)
- 難易度 B★★☆☆☆(初心者～初級)

寒峰(かんぼう)は徳島県祖谷山系に属し、山頂付近は開けており眺望に恵まれ、その寒々とした姿が命名の由来になったとされています。

中腹に福寿草の群生地があり、2月末から3月にかけて残雪の下より咲き、見頃を迎えることが多いです。福寿草の花言葉は『幸福を招く』『永遠の幸福』です。黄金色に咲く美しい花を楽しみましょう。

住吉神社→福寿草群生地→寒峰山頂を往復します。

日の当たりにくい傾斜には雪や凍っている所があります。個人装備に軽アイゼンが必要です。



寒峰のフクジュソウ



ミツマタ



定例山行案内 瀬戸内の島

## 沼島（おのころ山・石仏山）

- 日 程 2025年 3月 16日（日）
- 目 的 国生み神話の島を周遊する。
- 場 所 兵庫県 淡路島南あわじ市
- C L
- 準備会 2月 26日（水）19：30～ 事務所にて
- 体力度 1★☆☆☆☆（初心者）
- 難易度 A★☆☆☆☆（初心者～初級）

沼島は、兵庫県南あわじ市の最南端に位置する島です。はるか昔、神々がつくり出した最初の島だという伝説が残っています。今もなお自然のままの姿を残し、知られざる楽園として、訪れる人を魅了しています。島1周、休憩を挟んで約4時間です。

興味のある方はご参集をお願いします。



定例山行案内

## 岩トレー12

- ◆ 日程 2025年 3月 16日（日） 8:30～15:00 位
- ◆ 場所 大屋富の岩場
- ◆ 担当

定例の岩トレです。練習内容は参加メンバーで決めたいと思います。参加される方はヘルメット、ハーネス、クライミングシューズ、シングルロープ、その他クライミング道具一式を持参してください。



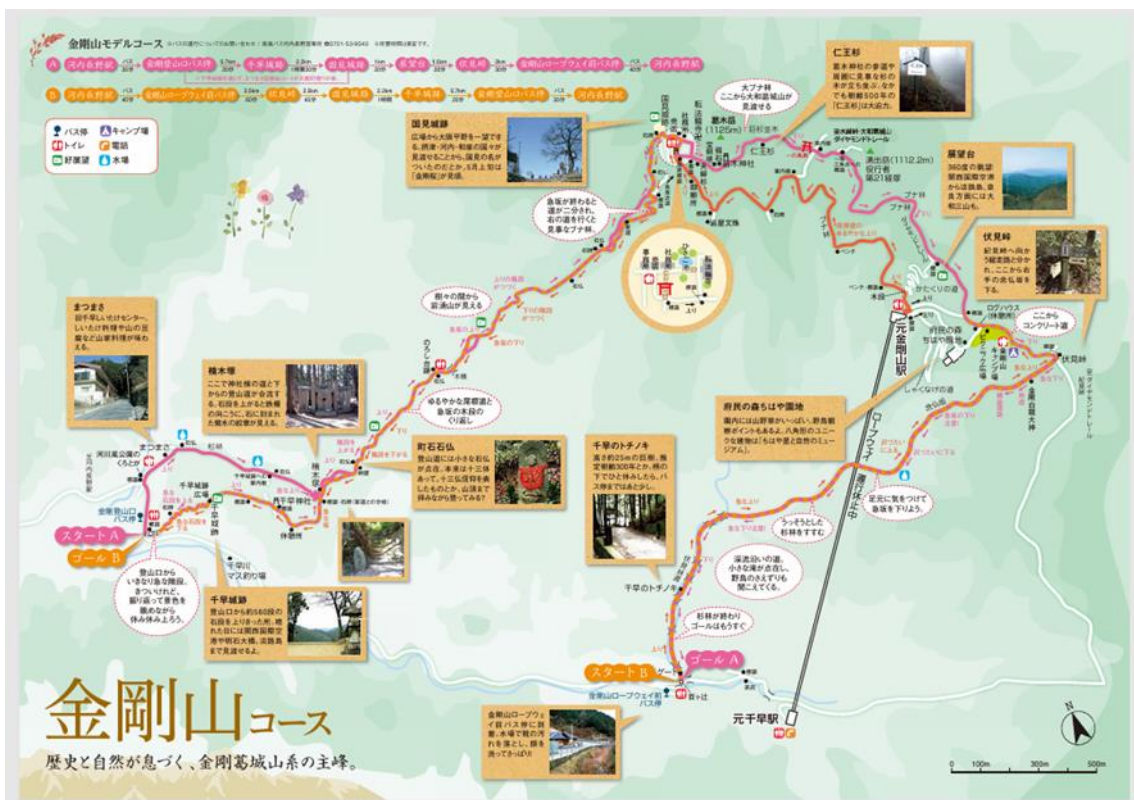
定例山行案内

# 金剛山 1,125m

- 日程 2025年 3月 30日(日)
- 目的 関西で一番人気の山を歩く
- 場所 奈良県御所市高天
- C L
- 準備会 3月3日(月) 19:30~ 事務所にて
- 体力度 2★★☆☆☆ (初心者~初級)
- 難易度 B★★☆☆☆ (初心者~初級)

日本二百名山に名を連ねる金剛山は大阪と奈良との間にあります。関西では最も人気のある山の一つです。標高1088m 山頂にある「転法輪寺」の境内や近くの国見山城跡の展望台からは大阪市内や遠く明石海峡大橋が見える素晴らしい眺望が望めます。

ルート上には見所満載で歴史を感じながら楽しく歩けます。一度は金剛山に登ってみましょう！



## 2月号掲載以降の山行、ハイキング、行事の予定

会報に案内を載せている以降の予定です。スケジュールに入れて参加しましょう。

月	日	曜日	山行予定	CL
3	22・23	土・日	大山南面	
	23	日	瀬戸内の島	
4	6	日	総会	
	13	日	瀬戸内の島	
	20	日	日帰り山行	
	20	日	岩トレ1	
	27	日	日帰り山行	
	未定		九州の山シリーズ 経ヶ岳	

上記予定は変更になる可能性もあります。



## 山クイズ

**かんたん入門コース** 山の知識検定より

Q1 高気圧と低気圧の記述のうち、誤ったものはどれですか？

1. 高気圧は、中心付近が下降気流となっており、天気が良い。
2. 低気圧は、周囲よりも中心の気圧が低い。これは中心付近で上昇気流が発生しているため、周囲から中心付近へ風が吹き込む構造となっている。
3. 高気圧にはいくつか種類があり、盆地のように周囲よりも低い場所に冷たい空気が溜まることで局地的にできるものもある。
4. 低気圧にはいくつかの種類があり、寒冷低気圧と呼ばれる低気圧は、下層に強い寒気を持ち、比較的安定しているため天気の崩れが小さいことが多い。

Q2 国土地理院の地形図で使用している「ハイマツ地」の地図記号はどれですか？

1.

2.

3.

4.

\*\*答えがわからない人は知ってそうな会員に教えてもらいましょう



## 伯耆大山

- 日 程 2024年 12月 21日(土)～22日 雪
- 場 所 鳥取県大山町
- 目 的 雪山の基礎技術の維持向上
- 参加者 7名 CL: SL: 装備・医務: 写真:  
食料・会計: 講師: 記録:
- 費 用 距離: 375K 高速代: 9040円 駐車場代: 1000円 一人 3550円

### コースタイム

12/21 (土) 5:30 善通寺山の会事務所⇒8:30 南光河原駐車場 9:00～9:45 大神山神社…10:45 元谷避難小屋 11:00～12:50 六合目避難小屋 13:10～13:50 八合目…14:06 六合目…15:15 元谷避難小屋 (泊)

12/22 (日) 6:00 起床 7:35～8:00 行者谷付近でわかん・ラッセル訓練、イグルー造り、ビーコン受信・送信確認など雪山技術の講習 11:30～12:00 元谷避難小屋 12:25～12:55 大神山神社…13:15 南光河原駐車場 13:50～17:10 山の会事務所

雪の大山登山に参加すると決めて、靴も新調し昔の道具を持って参加した。ステップワゴンに7人分の荷物を詰め込み出発。蒜山も大山も雲がかかり見えない。大山の南光河原駐車場に積雪はなく、台数も少なくひっそりしている。重い荷物を背負い大神山神社へ向かう。

元谷の積雪は1m以上あり木々に雪が残り美しい。風と共に雪が舞う。荷物を避難小屋に置き行者登山口から六合目を目指す。



思ったより傾斜がきつく滑りやすい。アイゼンを付けると滑らず歩きやすいが重い。😓と思いながらようやく縦走路と合流する。六合目はこんなに遠かったのかと感じ、避難小屋が見えた時は嬉しかった。他のメンバーはここからアイゼンを付けて8合目を目指す。時間切れの為登頂は断念。2名は避難小屋で帰りを待つ。ノースフェイスのおしゃれなご夫婦、一人で登っ

てきた女性の青く軽いアイゼン。最新の装備がいいなと感じた。

元谷避難小屋は一組の二人連れ以外は私達の貸し切り。鍋を囲み、雪を溶かして水を作る。早速お湯割りを楽しんでいる。野菜たっぷりの鍋と炊き立てご飯で夕食。21日は冬至。18時20分頃北北東に向かい熱心にお祈りする方もいたが、他の人は寝床の準備に忙しい。小屋は広く割と暖かいけれど、贅沢は言えないがトイレが残念。



翌日は近くの谷でM講師より雪山技術の指導を受ける。わかんは引っ掛からないように足を回すようにして歩く。ラッセルは片足を踏みしめ、体重を乗せる。その時大腿部を手で持ち、できるだけ足を高い位置に持っていく。先頭は足場を作り、2番目の人は踏み固め、疲れたら交代して後ろに回る。この動作の連携が冬山登山の歩行速度を決める。

米山式イグルーは冬季手ぶら山行技術。慣れないとなかなかできるものではない。習得の早道は保険にテントを持っていかない事らしい。必要道具はスコップと鋸と防寒テムレス（雪かき用ゴム手袋）。鋸は樹木剪定用の刃渡り30cm以上のものがお勧め。積雪が50cm、直径2mの場所でどこでも作れる。室内の直径は160cm×160cmの正方形で3人寝られるメドで作り、ドーム部分は小さく作り地下で大きく横に広げるのがコツ。壁の一段目（50×30×30）ブロックは足元から切り出す。ノコで下面も含め四角に切れ目を入れスコップでこじ開けて取り出す。二段目は載せる面は水平で内側にずらして積む。



円に対してブロックが大きいほど「橋掛け」ができて内側へ寄せられる。三段目以上は軽く長細いブロック（40×15×15）を組む。細長いブロックは雪の積雪相に水平に切り出すと強度も強いものが取れる。積む人と切り出す人と経験が要る。私たちのイグルーも天井ができなかった。M講師の資料を後で読むと、できなかった理由がわかる。



次に雪崩ビーコンがどのくらいの距離で電波を捉えるのか体験した。対象ビーコンの電波が受信できないところまで離れ、操作ビーコンを受信モードにしてゆっくり対象に近づく。電波の受信が安定しないファジーゾーンを知る。コースサーチ（粗い搜索）で対象の場所を絞る。ビーコンの表示数値が10-12になったら膝の高さに下げ水平に保持、

大声で仲間知らせる。ファインサーチでは十字法で表示数値の最小値を絞り込む。ビーコンを雪面につけて操作する。ゾンデを細かく刺し対象を探す。ヒットすればゾンデをそのままにして、周囲をスコップで掘る。雪崩で仲間を助け出すのは自分達。ビーコンも世代を変えて、最新の物は音声で指示をしてくれる。

雪山では手袋が分厚く、一つ一つの動作がしにくく時間がかかる。飴を食べようとしてもできにくい。いずれも体験と練習が必要で、大変だが雪山での遊びは楽しいと感じた。同行させてくれた仲間へ感謝。ありがとうございました。

定例山行報告

## 箸蔵街道（箸蔵駅～箸蔵寺～讃岐財田駅）

- 日 程 2025年 1月 5日（日） 晴れ
- 場 所 香川県 三豊市
- 目 的 初詣山行、2025年の山行の安全祈願
- 参加者 18名 CL: SL: ・ 装備: 食料: 写真: 医務: ・  
会計: 記録:
  
- 費 用 640円/人 (JR 330円、飲み物 80円、ガソリン 35km 230円)

コースタイム

山の会事務所 6:10====6:45 讃岐財田駅 7:26————7:37 箸蔵駅 7:50……………9:20 箸蔵寺本堂 9:35……………11:55 二軒茶屋 12:30……………13:15 石仏峠……………15:25 讃岐財田駅 (反省会)====16:15 善通寺山の会事務所 解散
--

曜日の配列から、年末年始の休暇は最大9連休だという。その最終日に、毎年恒例の初詣に出かけた。新入会員4名を含めて総勢18名の参加である。夜明け前の暗闇の中、山の会事務所を出発して財田駅に向かう。財田駅に到着しても、まだあたりは薄暗い。体が芯から凍りそうな冷たい空気である。

7時26分発の電車は、ほぼ貸し切り。朝から電車のあちこちで、賑やかなおしゃべりの花が咲いている。箸蔵駅の駅舎前で、ラジオ体操をする。縮こまっていた体の節々が、ぐ〜っと伸びるのを感じる。さあ、いよいよ出発。

CLは、メンバーの様子を見ながらゆっくりゆっくり進む。落ち葉を踏みしめる音が

サクサクと響く。まったく地面が見えないくらい、落ち葉が積もっている。高灯籠にて一休みするところには、体もポカポカしてくる。冬山最高のお天気である。

ここから長い階段が始まる。階段に記されている般若心経を一文字ずつ唱えながら登っていく。空を見上げるほどの急勾配の階段を一段一段踏みしめて、ようやく箸蔵本堂に着く。

箸蔵寺は、天長5年(828年)年に弘法大師が金毘羅神の御神託を受けて七堂伽藍を建て、自ら刻んだ神像を本尊として開基したといわれる。「金毘羅奥の院」としても知られている。メンバー全員でお参りしたのち、記念撮影をする。

ここからは、なだらかな山道を歩く。新しい年を迎えたばかりだからであろうか、冷たく凜とした空気のせいであろうか、すがすがしい気持ちである。

ようやく二軒茶屋に到着したのは、ちょうどお昼。今回は、食料担当が、温かい飲み物を準備してくれている。甘酒、はっさくしょうが、柚子ドリンクの中から好きなものを選び、熱々のお湯でいただく。体の芯から温まってくるのを感じる。

昼食後は、足が埋まるくらい落ち葉が積もっている道を、財田駅に向かって、ラストスパート。道中、冬の山行における行動着の着脱の仕方、靴紐の結び方、ザックの背負い方、下りでのストックの使い方など、先輩メンバーからのアドバイスをもらいながら歩く。ようやく、「百丁石」が見えたときには、安全に戻ってこられたことにほっと胸を撫でおろす。

多くのメンバーと共に、新しい年を迎えたことを喜び、2025年の山行の安全祈願ができた一日だった。



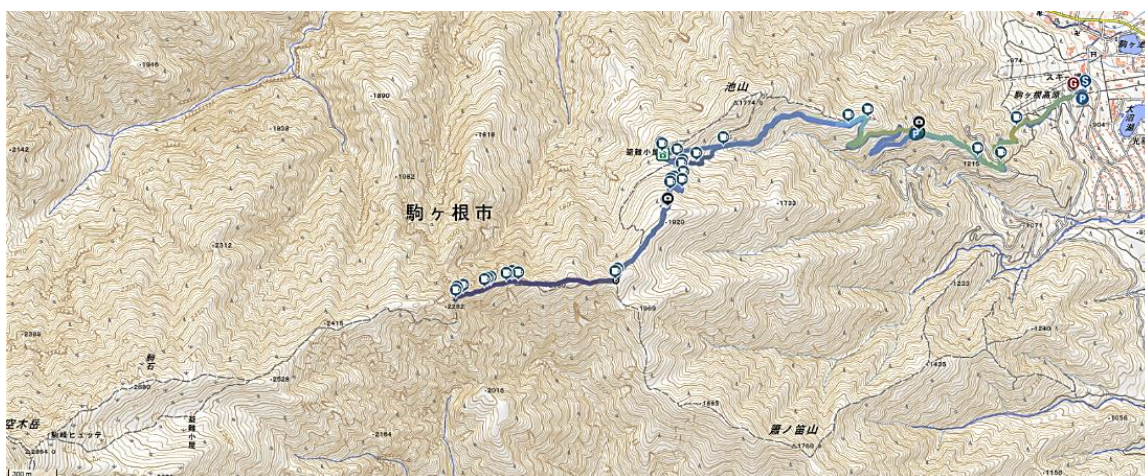


## 空木岳 は遠かった

記録

- 日程 2025 01/10 金~13月
- 場所 長野県駒ヶ根市
- 目的 雪山登山
- 参加者 CL 気象 SL 食料 記録写真 会計
- 費用 ガソリン 1084 km×30=32520円 ETC20660円 ガス 803円 食料 7350円 計 61333円÷4≒15350円(1人)

1/10-11 晴れ 善通寺 2000=山陽・新名神・中央道=駒ヶ根 IC335=駒ヶ根高原スキ-場 P 630→林道終点 P1000→1305 池山小屋 1355→1545 1200m→1625 池山小屋泊



5名の予定が4名に減少。名神関ヶ原付近が雪のため通行止めで、新名神名古屋経由となり、運転者は苦勞したかもしれない。スキー場 P(905m)で仮眠朝食後出発。雪はあるが踏み跡があり当初順調に進む。林道終点(1305m)では視界がよく、伊那盆地をはさんで南アルプスほぼ全域が見える。池山南面をトラバースして進むと先行者がひきかえしてきた。トレースのないルートになり交替でラッセル。ペースは大幅に落ちる。

昼を過ぎて池山無人避難小屋(1750m)に到着し、少し苦勞して入り口を開けた。本日中にテント予定地点までたどり着けそうにないので、小屋に荷物を置き軽荷になってラッセルしてルートを作ることにする。雪をよけるのではなく雪を集めてその上に立ちあがる。1900m付近まで交替で雪かきして引き返した。小屋の外は水が出ており、ガスの節約もできた。十分な夕食後トイレのある小屋で長時間の睡眠がとれた。

1/12 曇り雪 池山小屋(1750)535→730 マセナギ(1980)→1045 ヨナ沢の頭付近(2210)→1315 マセナギ→1420 池山小屋 雪崩ビーコン練習 泊

暗いうちに出発。前日すすめた部分より先はペースが大幅にダウンする。軽荷の地元健脚登山者1名が追いこしてくれた。しだいにけわしい道になり、無雪期ならトラバースするところが直登になり非常にキツイ。危険なのでアイゼンに変えて進んだが、1名

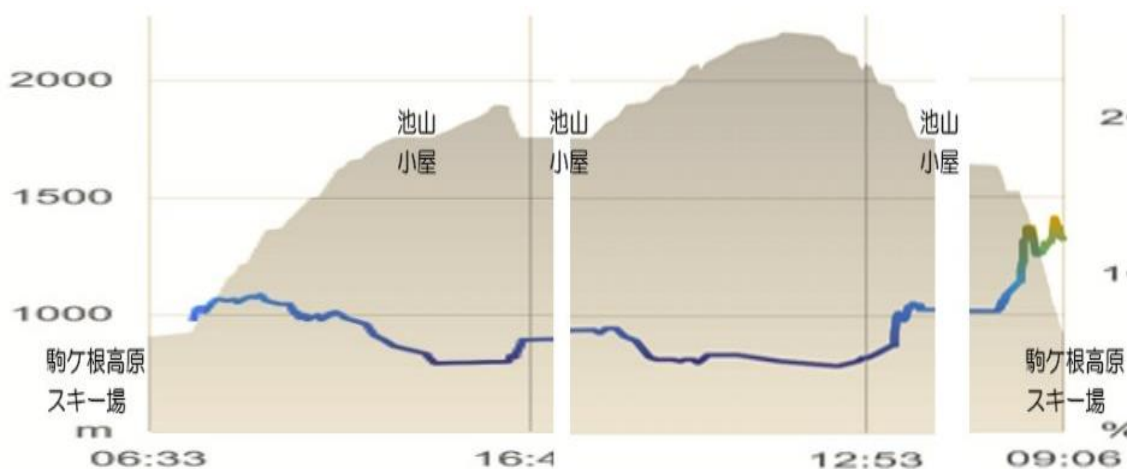


アイゼンが両足とも崩壊。CLが手際よく修理してくれた。大地獄などの難所を通過。当初のテント予定地ヨナ沢の頭付近(2210m)まで進んで引き返すことになった。鎖場の下りはムンターで確保されたローダウンであった。ワカンとアイゼンの併用の練習も必要である。

先行者が引き返してきて、2名のパーティーが追い越していった。ワカンに取り換え池山小屋まで戻り、小屋周辺でビーコンの練習。夕食後小屋でゆったり眠った。2晩とも利用者は我々だけであった。

1/13 晴れ 池山小屋 645→813 林道終点→910 駒ヶ根高原スキー場 P=駒ヶ根 IC=駒ヶ岳 SA=中央道・名神・山陽道=1730 善通寺

朝食後踏まれた道を登山口まで下る。晴れているが初日より雲が多い。帰路駒ヶ岳SAから雪ののった鋭峰が見えるが田切岳という名前らしい。SAで夕食。関ヶ原付近の通行も問題なく、あまり遅くなることもなく無事善通寺に帰り着いた。



ごごしま  
経が森 203m~興居島・小富士山 282.4m

- 日 程 2025年 1月 19日 (日) 晴れ
- 場 所 愛媛県松山市
- 目 的 瀬戸内の島の登山を巡る
- 参加者 4名 CL: 装備 SL: 記録: 写真  
会計: 医務
- 費 用 走行距離 280km 3300円/人+フェリー代 500円

事務所 6:00=善通寺 IC=松山 IC=8:10 高浜港 9:25-フェリー=9:35 泊港  
10:00-10:15 小富士登山口-10:22 笠石-10:35 小富士山頂 11:00-11:30 泊港  
12:10 フェリー=12:20 高浜港 12:30-12:50 松山観光港 13:10-13:45 経が森  
-高浜港駐車場 14:40-17:30 事務所・反省会

高浜港に早めに到着して待合室でゆっくり休憩する。フェリーの乗船時間は10分  
片道250円で船の中で切符買うシステムとなっている。

高浜港からは中島行きと興居島(ごごしま)行きのフェリーが出ていて中島にも山が  
2座あるので次の瀬戸の山登りに良いかも。

人の乗船場所は少なく船に空洞が空いているような感  
じのフェリーだった。興居島に着いて小富士山が目の前  
に見える。登山口に木製の立派な案内板があり、所々に案  
内板がある。沢山の人が登っているようだ。登山道の伊予  
柑とレモン畑があり、後で興居島みかんとして売られて  
いた。山頂は絶景で瀬戸内海と松山の町、石鎚山、皿が峰  
も見ることができた。天気も良く風も無く、登りはじめ  
ると暑くて汗が出るので衣服調整をこまめに繰り返す。下  
山して地元のみかんを買える所を聞いて無人販売所で1  
袋100円で2袋購入する。フェリーで食べると、とても



美味しかった。も

っと買っておけばよかったな。高浜港から徒歩  
で10分位歩くと松山観光港に着く。レストラン  
で名物の美味しいランチを食べようと思ってい  
たが、レストランはお休み、土、日、祝日はお休  
みらしい。「どうなっとな？」どうも興居島で土、  
日、祝はお店をしているらしい。観光港は閑散

としていた。小倉に2日に1便船が出るような様子だった。案内所に電子レンジがあり、冷凍の弁当を電子レンジでチンして食べる。

気を取り直して経が森に出発する。十二番札所太山寺の近くにあり経が森山頂には大きな観音像もあり見晴らしも良い。岩子山方向に下山の道には石垣跡も沢山あり、コンクリートの納屋や岩をくりぬいて貯蔵庫などもあった。小富士山も経が森も山頂は海が見えて気持ちのいい山行だった。天気がよく暑かったり寒かったり衣服の調整が忙しいけど大変楽しい山行だった。



## 運営委員会ニュース

1月16日(木)19:30

### ■会員の動向

入会0名、退会1名、休会1名 会員数60名(うち家族会員7名)

### ■各部・実行委員会報告

#### ①事務局

- ・1月例会参加者21名 全員に山の希望を発言してもらい意見が聞けて良かった。
- ・写真展の準備が大変→実行委員会で実施してほしい→次年度検討
- ・2月例会で5月のフリーデー山行(5/3~6)をみんなで決める。

#### ②山行部

- ・7月の海の日の連休に白馬岳(金曜夜出発のバス利用)
- ・最近入会した人が行きやすい山行
- ・テント泊入門山行
- ・干支にちなんだ山
- ・島シリーズ継続

#### ③会報部

- ・ワンポイント講座みたいなものを毎月してはどうか?

#### ④県連

- ・ 県連総会 3/2 代議員参加者（4名）
- ・ 来年度の女性交流を普通寺山の会が担当（山で為になることや山ご飯を作るなど）

#### ■各種提案事項

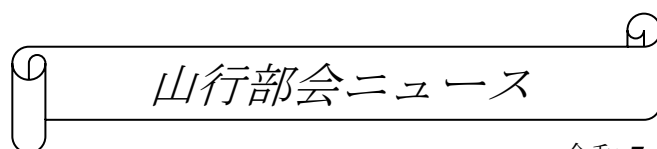
##### 【議事1】総会議案書の討議

事務局（  
会報部（  
Enjoy 登山学校（

##### 【議事2】今後のスケジュール

2/20:運営委員会（、会活動（  
3/20:会計（、山行活動（山行部活動（  
3/27:議案書印刷  
4/3:例会（議案書配付）

##### 【議事3】ホームページの更新



令和7年1月15日（水）

#### 1. 今月、来月の行事

12/15	伊吹島	CL	7人
12/21~22	初級中級の冬山（大山）	CL	7人
1/5	箸蔵街道	CL	18人
1/11~13	中央アルプス縦走	CL	4人
<hr/>			
1/19	興居島（ごごしま）	CL	
1/26	初級中級の冬山（石鎚山）	CL	
1/25~26	県連雪山の基礎訓練（大山）	CL	
2/2	屋島	CL	
2/8~9	弥山尾根	CL	
2/9	初級中級の冬山（那岐山）	CL	
2/16	スノーシュー（三平山）	CL	
2/23	金見山～大谷山	CL	

#### 2. 教育山行等

12/15	岩トレ9	CL	2人
1/19	岩トレ10	CL	

## 3. 座学

## 4. ヒヤリハットの検討 ( 0件)

**\*\*\*県連ニュース\*\*\***

2025年1月15日(水)

於：香川県連事務所

## ■各会の会員数の推移

高松労山 :27名	高松ハイキング :4名
さぬき山歩会 :37名	五色の峰 :4名
丸亀しわく山の会 :65名	善通寺山の会 :60名
あけぼの山の会 :51名	観音寺ハイク :22名
県連合計 :270名	

## ■今後の活動計画

1/25・26 伯耆大山での「雪山の基礎訓練」について

1日目：大神山神社周辺で、2日目：宝珠尾根での訓練

中級講師：、初級講師：

初級・中級併せて、愛媛県連から2名、香川県から36名余りが参加予定

## ■高松ハイキングクラブ、五色の峰

- ・高松ハイキングクラブは今年度末で活動休止を表明した  
何らかの形で休止にならないよう支援していく
- ・五色の峰については、責任者と連絡が取れない状態となっており、連盟費も入金されていないので、連絡が取れるよう継続して努力していく

## ■総会議案書の討議

- ①理事会
- ②四国地方協議会
- ③組織部
- ④教育遭難対策部
- ⑤自然保護委員会

## ■その他

①第59回県連定期総会(3月1日PM:善通寺市民会館にて)の招集について

善通寺山の会からは理事2名、代議員4名が参加予定

②来年度の活動予定

女性交流登山は善通寺山の会が担当になる予定

○次回理事会 2月5日(水):19:00~ 於：善通寺市民会館

## \*\*\*事務局からのお知らせ\*\*\*

■会員の動向 会員数 60名 (内家族会員 7名)

12月から入会 2名

12月から退会 2名

1月例会参加者 21名

■例会

1月例会では行きたい山の話を出しあいました。

2月例会では5月連休の山行を考えて行きます。

■2月1～2日善通寺市民会館 写真展ご協力ありがとうございました。

■会費の納入について

会費の納入をお願いします。12か月¥13200円 6か月¥6600円 3か月¥3300円

振り込みの方は

(ゆうちょから) 記号 16390 番号 8105251

(他金融機関から) 店名 六三八 (ロクサンハチ) 店番 638

科目 普通預金 番号 0810525 善通寺山の会あて

事務局員募集中です。よろしくお願ひします。



## 山クイズ

全問正解  
できるかな

**ちょっとだけレベルアップコース** 山の知識検定より改変

Q 山岳小説の題名と舞台の山の組合せで誤っているものはどれですか？ また、それぞれの小説を執筆した小説家の名前は？

1. マークスの山 (北岳) 作家名 ( )
2. 聖職の碑 (木曾駒ヶ岳) 作家名 ( )
3. 氷壁 (谷川岳) 作家名 ( )
4. 神々の山嶺 (エベレスト) 作家名 ( )

## 【編集後記 表紙のことば】

空木岳を目指して中央アルプスにとりつけば、会報部のおしごと=表紙や記録・グラビア用の写真はなんとかかなると思っていた。しかし現実には厳しく、ラッセルの末、森林限界を越えることさえできなかった。下山後中央道駒ヶ岳SAから雪をかぶった鋭峰が見えた。田切岳といい、空木岳の南の赤檜(あかなぎ)岳の東、主稜線から少し外れたところにある。普通の地図に田切岳は載っていない。



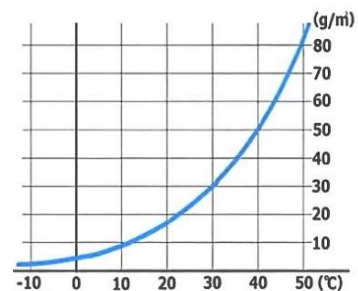
田切って何のことだ？長野県伊那盆地天竜川の西岸は、いわゆる河岸段丘が発達し段々になっている。段々の棚が西から流れる川の谷により分断され、田んぼが切れているということで田切地形という。これらの川は〇×田切川と呼ばれることが多く、田切という地名もある。交通面でも具合が悪く、JR飯田線は〇×田切川を大きく山側に迂回して渡っている。おかげで飯田線は電化しているのに鈍足。

河岸段丘の形成過程だが、氷河期には日本アルプス山頂付近に氷河が発達し、千畳敷に代表されるカル地形を形成。もう少し低いところは氷河こそできなかったが、寒冷・乾燥のため植生は後退した。露出した地盤は凍結解凍の繰り返しで砕かれ、砂礫供給は多いが降水量が少ないため山間中流域に滞留し、段丘の棚を形成した。間氷期には温暖化のため空気が水分を多く含み、梅雨前線や台風が加わり降水量が増加。森林は発達し、川は深く刻まれ段丘の崖や田切地形を形成した。氷河期・間氷期が繰り返され、何段にもなる河岸段丘ができた。

日本の山地は斜面も川床も勾配が急で、地質面からも崩れやすい。豪雨も多いので山崩れを伴ない、現状でも単位面積当たり浸食量が欧米より一桁多い。地球温暖化によるグリーンランドや南極の氷床融解・海面上昇・水没はかなり先のことらしい。しかしトランプはパリ協定を離脱し温室効果ガス排出抑制にと

気温の上昇とともに、空気中に溜められる(飽和)水蒸気量は増加

りくむ気がない。日本は水没以前に高温化に加え今まで以上の豪雨・洪水・土砂崩れに悩むことになる。数百年に1回のことが数十年、数年おきに起こるようになる。釧路のように夏涼しい土地に移住しよう。水害対策も考えなくては。なお室戸岬などにみられる海沿いの海岸段丘の形成過程は、



河岸段丘とは反対。間氷期には海に流れ込む土砂で棚ができ、氷河期には海面が下がり波で削られ崖ができる、とされている。河岸段丘・海岸段丘いずれも自転車にとっては登ったり下ったりでしんどいところ。



気温の上昇により空気中に溜められる水蒸気量が多くなることを竹筒が大きくなることに例えると。。。。

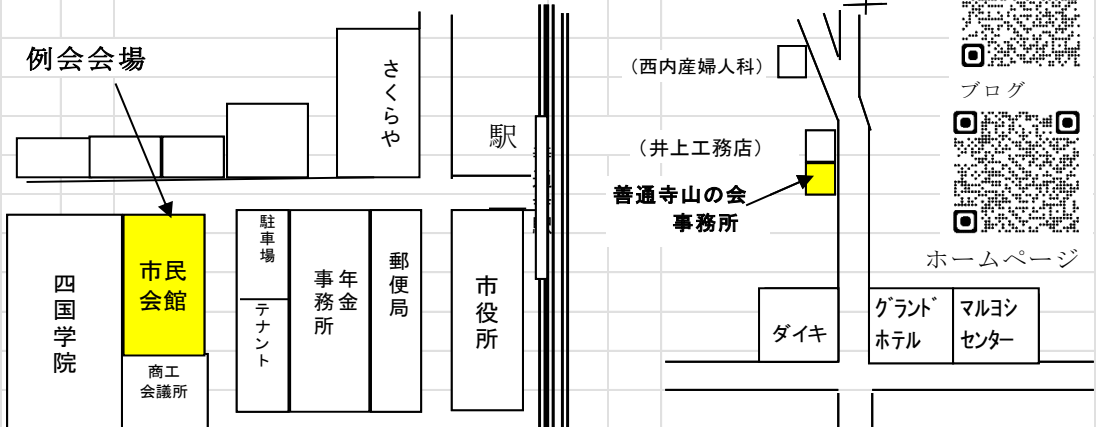




2月					3月				
1	土	市民会館写真展			1	土			
2	日	屋島・岩トレ11 ↓			2	日	県連総会		
3	月				3	月	金剛山準備会		
4	火	会報部会			4	火	会報部会		
5	水				5	水			
6	木	例会			6	木	例会		
7	金	金見山大谷山準備会			7	金			
8	土	弥山尾根			8	土			
9	日	初級中級冬山那岐山 ↓			9	日	寒峰		
10	月	大山縦走準備会			10	月			
11	火				11	火			
12	水	山行部会			12	水	山行部会		
13	木				13	木			
14	金				14	金			
15	土				15	土			
16	日	スノーシュー三平山			16	日	岩トレ12・瀬戸内の島 (沼島)		
17	月	寒峰準備会			17	月			
18	火				18	火			
19	水	事務局会議			19	水	事務局会議		
20	木	運営委員会			20	木	運営委員会		
21	金				21	金			
22	土	大山縦走 ↓			22	土	大山南面 ↓		
23	日	金見山大谷山 ↓			23	日	瀬戸内の島 ↓		
24	月				24	月			
25	火	原稿締切			25	火	原稿締切		
26	水	沼島準備会			26	水			
27	木				27	木			
28	金				28	金			
					29	土			
					30	日	金剛山		
					31	月			

◆月会費:1,100円 入会金:1,000円

◆申し込み・問い合わせ先 ☎(0877)22-0036 佐藤



こめつつじ No524

発行:普通寺山の会 会報部

発行日:2025/2/4

住所:〒765-0021香川県善通寺市下高田町143-1

発行人:三野

編集責任者:村上しのぶ